

平成26年度

# 事業報告書



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 静岡県済生会

# 済生会基本原則

社会福祉法人<sup>恩賜財団</sup>済生会は、済生勅語に示された「施薬救療」の精神を承けて、済生の実を挙げ、社会福祉の増進を図ることを目的として設立された。

社会福祉法人<sup>恩賜財団</sup>済生会は、全国にわたり医療機関及びその他の社会福祉施設等を設置し、定款に記された事業を行っている。

## 平成 26 年度静岡県済生会経営方針

### 済生会の理念と役割の実践

平成 26 年 4 月 1 日より、組織運営の充実・強化とともに、機動性、効率性の向上を図るため、従来の理事会及び評議員会を統合し、支部運営に係る新たなる意思決定の場として「社会福祉法人<sup>恩賜財団</sup>済生会静岡県支部理事会」を設置した。また、静岡支部における支部業務は、施設長の任免等一部人事権を除き、本部理事長から支部長（支部業務担当理事から名称変更）に一元化して委任された。

消費税率の引き上げに伴う経済状況の変化、サービス事業体系と報酬体系等が大きく変化する経営環境の下、新体制となった静岡県済生会は、「中期事業計画」の 2 年目を迎え、以下の方針に沿って積極的な取り組みを行った。

#### 1 済生会ブランドの構築のために

「施薬救療」の精神を具現化した無料低額診療事業は、済生会活動の原点である。この事業の一層の推進と生活困窮者への支援事業の充実並びに医療福祉サービスの積極的な推進を図る。この事業を幅広くかつ積極的に実行することにより済生会のブランドが確立する。

#### 2 わが国最大の医療・福祉団体としての活動

- ・生活に密着した心温まる医療・福祉サービスを提供する。
- ・急性期から在宅まで切れ目のない医療・福祉サービスを提供するためには、あらゆる種類の医療・福祉サービスが密接に連携する必要がある、この面でも先導的な役割を果たしていく。

#### 3 行政・関係団体・地域住民等外部との連携・協力

地域における医療・福祉の需要に応えるため、行政や社会福祉協議会等の他団体との連携・協力などの仕組みを形成し、地域ネットワークのキーステーションとしての役割を担う。

#### 4 良質な人材の確保、「済生会人」としての育成に努め、サービスの向上と組織体制の強化を図る。

#### 5 地域社会のニーズに応えられるようその実現に努める。

#### 6 ガバナンスの確立とコンプライアンスの徹底を図るとともに、危機管理体制の万全に一層努める。

# 目 次

## ○ 平成 26 年度事業報告 (案)

	頁
1 静岡県済生会支部事務局 .....	1
2 静岡県済生会監査室 .....	7
3 静岡済生会総合病院 .....	9
4 静岡医療福祉センター児童部 .....	14
5 静岡医療福祉センター成人部 .....	18
6 静岡医療福祉センターライトホーム .....	20
7 静岡市発達障害者支援センター .....	22
8 伊豆医療福祉センター .....	24
9 静岡県川奈臨海学園 .....	27
10 静岡市心身障害児福祉センターいこいの家 .....	29
11 小 鹿 苑 .....	31
12 小鹿なでしこ苑 .....	35
13 静岡市桜の園 .....	37
14 静岡市心身障害者ケアセンター .....	41
15 ワーク春日 .....	45
16 静岡済生会看護専門学校 .....	47
17 静岡済生会訪問看護ステーションおしか .....	49

以 上

## 1 静岡県済生会支部事務局（共通事業）

### 基本理念

生活困窮者を済う

医療で地域の生を守る

医療と福祉、会を挙げて切れ目のないサービスを提供する

### 平成 26 年度目標と結果

**目標①** 5カ年に渡る中期事業計画と第2次なでしこプランの2年目にあたり、各事業の積極的な推進とその進捗状況の的確な管理を図る。

**結果** 本支部施設においては、施設行事開催に合わせて述べ 1,822 名（ホームレス 18 名、高齢者及び障害者 1,265 名、刑余者 57 名、外国人 92 名、母子児童 129 名、その他 261 名）に対して、健康診断、健康・医療相談等を行った。（詳細は、4 ページから 6 ページ参照）

**目標②** 社会福祉の増進を図るべく、各施設への総合的な支援を行う。

**結果** 支部社会福祉事業は、本支部の総合病院及び福祉施設利用者の福祉の増進を図ることを目的として実施した。26 年度は、前年度を上回る倍以上の事業申請と申請額となった。

また、病院新館及び院内保育所の建築、指定管理者公募への応募等に対し側面から施設への支援を行った。

### （1）支部事務局運営事業

社会福祉法人<sup>思賜財団</sup>静岡県済生会の法人管理並びに運営事務について、次のとおり事業を行った。

#### ア 支部理事会の開催・・・5 回開催（理事会 6 回、評議員会 5 回）

	開催日	場所
第 1 回	平成 26 年 4 月 30 日	静岡済生会総合病院
第 2 回	平成 26 年 9 月 17 日	静岡済生会総合病院
第 3 回	平成 26 年 12 月 4 日	静岡済生会総合病院
第 4 回	平成 27 年 1 月 30 日	グランディエールブケトーカイ
第 5 回	平成 27 年 3 月 24 日	静岡済生会総合病院

#### イ 諸会議の開催

会議名称	回
・支部事務局会議	26 (22)
・支部執行会議	4 (1)
・職員共済制度委員会	2 (2)

ウ 済生会本部等との連絡調整

会 議 名 称	回
・支部長会議（本部）	1 (2)
・済生会支部事務責任者会議(仮称)（愛媛県支部） 〔H25 までは、全国済生会常勤常務(業務担当)理事協議会〕	1 (1)

エ 医療施設及び社会福祉施設等の有機的な連携を図るための連絡調整

会 議 名 称	回
・介護保険施設連絡会	4 (8)

オ 第三者委員会の運営に係る業務・・・2回(2)

	開 催 日	場 所
第1回	平成26年7月18日	グランドホテル中島屋
第2回	平成26年12月19日	静岡市桜の園

カ 職員研修事業の実施・・・1回(2)

	開 催 日	内 容
第1回	平成26年4月1日	・新人オリエンテーション 法人概要と規程・規則の説明 無料低額診療事業の説明 コンプライアンスについて 新規採用職員100名出席

キ その他、法人の管理運営に係る業務

・会計事務所等による会計監査及び監事監査・・・全施設

	開 催 日	対 象
監査法人及び会計事務所による会計監査	平成26年4月22日、23日 平成26年4月22日	静岡済生会総合病院 福祉施設等
監事監査	平成26年4月25日	全施設

・行政機関（静岡県、静岡市）による指導監査への立会い

(2) 生活困窮者支援事業

生活困窮者総合支援事業（なでしこプラン）を病院、各施設とともに推進、展開した。（※各施設別詳細については、4頁～6頁参照）

また、就職相談会、介護フェア等においても無料低額診療事業等のパンフレット配布やDVD上映等を行い、啓発活動を実施した。

### (3) 支部社会福祉事業

病院南側駐車場（静岡県より無償貸与）の収益金を財源として、静岡県済生会の総合病院・社会福祉施設利用者の福祉の増進を図るための社会福祉事業を行った。

事業実施にあたっては、「社会福祉事業実施要綱」に基づいて、総合病院及び社会福祉施設において計画した事業のうち、特に利用者に対して利便性の向上が図れる等、社会福祉事業として貢献度が大きい事業を選択して予算の範囲内で助成を行った。

対象施設	事業内容	金額（円）
静岡市中心身障害児福祉センター「いこいの家」等 10施設（5施設）	組立式プール設置事業等 15事業（8事業）	7,913,348円 (3,425,730円)

### (4) 静岡県済生会職員共済制度事業

職員及び家族の福利厚生の上昇を図るため、各種給付及び貸付事業を実施した。実績は、次のとおりであった。

事業名	平成26年度		平成25年度	
	人数(名)	決算額(円)	人数(名)	決算額(円)
退職共済事業給付金	49	170,885,054	55	178,140,010
医療共済給付金	5,535	34,819,955	5,085	31,826,953
職員共済制度資金貸付事業	1	341,393	2	444,236

### (5) 施設整備等への支援

#### ア 総合病院事業施設整備支援

共同利用型院内保育所新築工事及び新南館B棟増築工事への支援を行った。

#### イ 静岡県川奈臨海学園

施設の小規模化と施設機能の地域分散化を目的とした「家庭的養護の推進計画」を策定するに当たり、県の所管課及び関係機関と老朽化した施設の建て替えも視野に入れ、今後の学園の在り方について協議を行った。

#### ウ 静岡市中心身障害者センター

指定管理の最終年となるため、継続指定に向け、事業計画の策定、申請等を支援した。

### (6) 済生会関東ブロック会議の開催

本支部が所属する済生会関東ブロックの合同会議の当番支部として、本支部内病院、福祉施設と連携を図り、8月1日（金）日本平ホテルを会場とし開催した。8支部から83名が参加し、5分科会及び合同会議が行われた。

# 平成26年度なでしこプラン事業報告(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

※ ( ) は、平成25年度実績

支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
対象者延数 (合計)	(15)	(1)	(897)	(59)	(54)	(123)	(260)	(1,409)
	18		1,265	57	92	129	261	1,822

施設名	静岡医療福祉センター児童部
-----	---------------

事業名	内容	健康・医療相談 ( )								
概要	療育セミナー開催時に施設利用者・家族を対象に無料の相談会を行う。施設利用者だけでなく幅広く参加を募る	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
	対象者延数						105		105	
実施延日数	8	従事者延数	68	支出総額(円) (内訳)						
特記事項	連携している 団体・機関名									
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)									

施設名	静岡県川奈臨海学園
-----	-----------

事業名	内容	その他 ( その他 )								
概要	伊東市からの委託による病児・病後保育事業「りんかい保育室」において、緊急を要するケース(虐待など)を事業外で受け入れる。	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
	対象者延数									
実施延日数		従事者延数		支出総額(円) (内訳)						
特記事項	連携している 団体・機関名									
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)	該当者なし(低所得者世帯等について減免制度も設けるが、利用者なし)								

施設名	特別養護老人ホーム小鹿苑、小鹿なでしこ苑、静岡済生会総合病院、支部
-----	-----------------------------------

事業名	内容	その他 ( 広 報 )								
概要	施設行事開催時に施設利用者・家族を対象になでしこプランなどの済生会の活動について講演会を行う。施設利用者だけでなく地域住民へも幅広く参加を募る	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
	対象者延数			103				260	363	
実施延日数	15	従事者延数	33	支出総額(円) 4,354 (内訳) 資料作成代等						
特記事項	連携している 団体・機関名	民生委員協議会、静岡市役所、教育委員会、静岡市社会福祉協議会、各施設								
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)									

施設名	静岡市桜の園、静岡済生会総合病院
-----	------------------

事業名	虐待障害者への緊急受け入れ事業	内容	その他 (その他)							
概要	家族等による障害者への虐待の緊急保護において、緊急を要するケースを静岡済生会総合病院と連携し受け入れていく	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数	従事者延数	支出総額(円)	(内訳)							
特記事項	連携している団体・機関名									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	該当者なし								

施設名	静岡済生会総合病院
-----	-----------

事業名	「外国人のための無料健康相談と検診会」支援事業	内容	健康診断 ( )							
概要	市医師会、実行委員会、医療福祉関係団体等と連携し、「外国人のための無料健康相談と検診会」に看護師やMSW等を派遣。血液検査などを無料にして、生活困窮外国人を対象に健康相談および検診を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数					92			92
実施延日数	1	従事者延数	20	支出総額(円)	580,716	(内訳) 検診料				
特記事項	連携している団体・機関名	外国人のための無料健康相談会と検診会実行委員会、静岡市静岡医師会、静岡県国際交流協会、静岡県立大学等								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

事業名	ホームレス等受診者に対する日用品、交通費等の支給事業	内容	その他 (その他)							
概要	緊急入院したホームレス、DV被害者等の受診者を対象に日用品の支給を行う。また、軽症の場合等には、病院から目的地までの交通費の支給も行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数	18							18
実施延日数		従事者延数	18	支出総額(円)	150,840	(内訳) 日用品費交通費等				
特記事項	連携している団体・機関名									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

事業名	ハローワーク健康診断・相談事業	内容	健康・医療相談 ( )							
概要	静岡労働局、ハローワーク等と連携し、ハローワークや施設内等にて、求職者を対象に健康相談やカウンセリングを行う。また、要請に応じて、専門職員を派遣し、ケース会議の実施や専門的助言を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数		従事者延数		支出総額(円)		(内訳)				
特記事項	連携している団体・機関名									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	今年度はハローワークより依頼なし。								



<b>事業名</b>	保護観察所等刑余者健診・相談事業		<b>内容</b>	健康診断 ( )						
<b>概要</b>	<b>支援対象</b>	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計	
	<b>対象者延数</b>				57				57	
実施延日数	2	従事者延数	8	支出総額(円)	143,697	(内訳)		検診料等		
<b>特記事項</b>	連携している 団体・機関名	静岡刑務所								
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)									

<b>事業名</b>	児童・母子福祉施設等健診・相談事業		<b>内容</b>	健康・医療相談 ( )						
<b>概要</b>	<b>支援対象</b>	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計	
	<b>対象者延数</b>						2		2	
実施延日数	1	従事者延数	2	支出総額(円)	32,343	(内訳)		検診料		
<b>特記事項</b>	連携している 団体・機関名	静岡県子ども家庭相談センター								
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)									

<b>事業名</b>	社会福祉施設等健康診断支援事業		<b>内容</b>	健康診断 ( )						
<b>概要</b>	<b>支援対象</b>	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計	
	<b>対象者延数</b>			1,133			20		1,153	
実施延日数	60	従事者延数	186	支出総額(円)	2,737,723	(内訳)				
<b>特記事項</b>	連携している 団体・機関名	就労継続B型事業所(ラポールあおい、ラポールチャクラ、富士見作業所、日本平学園、ゆいまある)母子生活支援施設(千代田寮)、軽費老人ホーム(白寿荘)、養護老人ホーム(静岡老人ホーム)、救護施設(静岡市救護所)など								
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)									

<b>施設名</b>	支部、静岡済生会総合病院、静岡医療福祉センター成人部・児童部、伊豆医療福祉センター、静岡県川奈臨海学園、静岡市心身障害児福祉センターいこいの家、小鹿苑、静岡市桜の園、ワーク春日									
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<b>事業名</b>	支部内各施設における無料健康相談会		<b>内容</b>	健康・医療相談 ( )						
<b>概要</b>	<b>支援対象</b>	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計	
	<b>対象者延数</b>			29			2	1	32	
実施延日数	5	従事者延数	45	支出総額(円)	14,454	(内訳)		説明資料作成		
<b>特記事項</b>	連携している 団体・機関名	ワーク春日、医療福祉センター成人部								
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)									

## 2 静岡県済生会監査室

組織のコンプライアンスと説明責任が強く求められる今日、社会福祉法人においても内部統制システムの整備と適切な運用が強く要請される中で、これまで以上に業務チェック機能を果たす内部監査の重要性が高まっている。

平成 24 年度に発足した内部監査を所管する監査室は、昨年度に引き続き関係法令、通知等に基づき、施設の事務処理及び運営等が適正に行われているかどうかを明らかにし、必要な指導を行うために、下記の監査を実施した。

### (1) 定期監査及び決算監査の実施

決算監査社会福祉法人<sup>恩賜</sup><sub>財団</sub>済生会支部静岡県済生会監査規程に則って実施した。

ア 定期監査・・・10 施設(8) 時期及び内容を定めて計画的に実施する。

施設名	監査日
静岡県川奈臨海学園	平成 26 年 9 月 5 日
静岡済生会看護専門学校	平成 26 年 12 月 22 日
小鹿なでしこ苑	平成 27 年 2 月 2 日
小鹿苑	平成 27 年 2 月 4 日
静岡医療福祉センター児童部	平成 27 年 2 月 6 日
静岡医療福祉センター成人部	平成 27 年 2 月 6 日
静岡市桜の園	平成 27 年 2 月 10 日
訪問看護ステーションおしか	平成 27 年 3 月 6 日
伊豆医療福祉センター	平成 27 年 3 月 17 日
静岡済生会総合病院	平成 27 年 3 月 18 日

イ 決算監査・・・会計事務所等による会計監査及び監事監査・・・全施設

	開催日	対象
監査法人及び会計事務所による会計監査	平成 26 年 4 月 22 日、23 日 平成 26 年 4 月 22 日	静岡済生会総合病院 福祉施設等
監事監査	平成 26 年 4 月 25 日	全施設

### (2) 行政機関による指導監査及び実地指導等への立会い

ア 東海北陸厚生局立入検査・・・1 施設(1)

施設名	監査日
静岡済生会看護専門学校	平成 26 年 5 月 28 日

イ 東海北陸厚生局新規個別指導・・・1 施設(0)

施設名	監査日
伊豆医療福祉センター	平成 26 年 11 月 6 日

ウ 静岡県、静岡市による指導監査・・・6施設（6）

施設名	監査日	実施機関
静岡県川奈臨海学園	平成26年9月12日	静岡県
小鹿なでしこ苑	平成27年2月12日	静岡市
小鹿苑	平成27年2月13日	静岡市
静岡市桜の園	平成27年2月17日	静岡市
静岡医療福祉センター児童部	平成27年2月18日	静岡市
静岡医療福祉センター成人部	平成27年2月18日	静岡市

エ 静岡県、静岡市による実地指導・・・6施設（4）

施設名	監査日	実施機関
静岡市心身障害者ケアセンター	平成26年9月2日	静岡市
ワーク春日	平成26年9月30日	静岡市
静岡市心身障害児福祉センターいこいの家	平成26年10月8日	静岡市
伊豆医療福祉センター	平成26年10月15日	静岡県
静岡医療福祉センター児童部	平成26年11月25日	静岡市
静岡市心身障害者ケアセンター	平成26年12月12日	静岡市

オ 静岡労働局雇用管理聴取・・・1施設（0）

施設名	監査日	実施機関
小鹿苑	平成26年9月1日	静岡労働局

カ 静岡市指定管理者本監査・・・1施設（0）

施設名	監査日	実施機関
静岡市心身障害児福祉センターいこいの家	平成26年10月22日	静岡市 監査事務局

### 3 静岡済生会総合病院（病院事業等）

#### 基本理念

・私達は暖かい思いやりの心で質の良い医療・福祉サービスを実践します。

#### 平成 26 年度目標及び結果

**目標①** 安心・安全・高機能な急性期医療の提供

**結果** ・地域の要請に応える積極的な受け入れ態勢の整備。  
・安全な医療の提供としてインシデント報告件数 200 件以上増加。

**目標②** 患者さん・連携医へのサービス向上

**結果** ・知名度の向上とアピールの強化（やさしい済生会）として、広報誌（home）の配布を増刷、中学生職場体験の職種の幅を広げた。  
・無料低額診療の推進として近隣学区への広報活動。

**目標③** 優秀な人材の確保

**結果** ・後期研修医 2 名確保。（消化器内科・産婦人科）

**目標④** 働きやすい環境

**結果** ・職員旅行の実施、病児保育の導入。

**目標⑤** 安定した経営

**結果** ・安定した財源による新館建築の遂行のため、病床稼働率の向上等に努めた。

静岡県中部地域の中核病院（昭和 23 年 6 月 1 日開設）として、入院診療を中心とする診療の充実に努めるとともに、救命救急センター、地域災害医療センター、健康管理センターのほか病診連携の強化・地域福祉サービス事業の運営・活動を積極的に進め、地域住民の疾病治療、予防、健康の増進を図った。

医療の質及びサービスの向上を図るため、医師等職員の確保、看護職員の定着対策、医療安全対策の強化に努めた。

そして、共同利用型院内保育の完成、平成 27 年度完成を目指し、新南館建築に着手した。

#### （1）病院運営事業

無料低額診療施設として、許可病床 534 床の有効利用と 25 科の診療の安定した運営に努めた。

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度
入院患者総延数	158,396 名	158,931 名
1 日平均入院患者数	434.0 名	435.4 名
入院患者 1 人 1 日当りの診療費	57,773 円	57,060 円
外来患者総延数	227,600 名	228,496 名
1 日平均外来患者数	932.8 名	936.5 名
外来患者 1 人 1 日当りの診療費	14,541 円	13,295 円

## (2) 救命救急センター・地域災害医療センター事業等

昭和 55 年 7 月 1 日より業務開始された救命救急センターに、医師・看護師・診療放射線技師・臨床検査技師及び事務員を配置し、休日夜間など 24 時間体制で治療を行った。

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度
救急外来患者	13,220 名	14,013 名
入院患者	3,447 名	3,764 名
延入院患者	7,717 名	7,953 名
救急医療施設運営費等補助金	135,480,000 円	126,973,000 円
DMA T 研修延べ参加職員	0 名	1 名

## (3) 臨床研修事業

臨床研修病院として、研修医を受け入れ、各科指導医による臨床実務を通じて基本的知識、技術の習得などの臨床研修を行い医師としての資質向上に努めた。

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度
受入研修医数	17 名	18 名
医療関係者研修費等補助金	11,254,000 円	14,361,000 円

## (4) 看護師確保対策事業（院内保育所）

看護師の離職を防止し、潜在看護師の再就職を促進するため、院内に保育所を設けて、平成 27 年度には共同利用型院内保育所（定員 110 名）として新たに開設予定である。

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度
一日平均利用児童数	31 名	22 名
延べ利用児童数	7,854 名	5,631 名
病院内保育所運営費補助金	6,568,000 円	5,082,000 円

#### (5) 地域福祉サービス事業

社会福祉法人の総合病院として、各医療福祉相談活動を通じ、地域住民の疾病治療、予防、健康の増進など社会福祉の向上に努めた。

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度
医療福祉相談	6,448 件	6,885 件
心理相談	5,537 件	5,157 件
看護相談	4,380 件	5,107 件

#### (6) 無料低額診療事業

生計困難者を対象に、無料または低額な料金での診療、無料の健康相談、保健教育等を行った。診療活動においては、生活保護患者以外の生計困難者について関係機関と連携の上、対象者への支援を拡大した。また、福祉施設職員等を対象に、保健医療に関する研修会を開催した。(2回開催延べ103人参加)

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度
無料低額診療事業患者延数	25,563 件	25,376 件

#### (7) 生活困窮者支援事業

無料低額診療対象者のみならず、生活困窮者全般を対象に、無料健康相談や無料または低額な料金での検診等を行った。無料低額診療事業とあわせて、支部内の他施設も含め、地域の関係機関・団体または当事者とともに啓発活動、教育活動の他、地域での福祉的課題について積極的に取り組みを行った。

主な対象者：刑余者（刑務所などを出所した者）、DV被害者、ホームレス、単身高齢者、就労困難者への支援など

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度
検診等	1,304 件	1,069 件
無料健康相談等	7 件	54 件
啓発活動	337 件	159 件

#### (8) 健康管理センター事業

地域住民及び福祉施設入所者、一般事業所従業者の疾病予防、健康の保持増進に  
 応えるため、生活習慣病集団検診・一般健康診断・人間ドック・脳ドック・特  
 定健診等を積極的に実施した。

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度
人間ドック	1,554 名	1,463 名
生活習慣病検診	8,512 名	7,733 名
婦人検診（子宮がん検診）	1,141 名	1,109 名
乳がん検診（マンモグラフィ）	732 名	745 名
〃（エコー）	584 名	647 名
脳ドック	82 名	57 名

#### (9) 岡本一男記念基金事業

静岡県済生会に勤務する職員が行う医学的研究・研修等に対し助成するととも  
 に、優れた業績の顕彰を行い、福祉・医療の向上を図った。

（助成対象：医学の研究・研修・福祉医療活動 等）

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度
助成金	559,796 円	352,275 円

#### (10) ナーススクール事業

将来の生き方や職業の選択について考えている、主に静岡市内の小・高校生を  
 対象として、保健・医療・福祉への理解を深めるため、ナース体験等の研修を開  
 催した。

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度
小学生参加人数	21 名	46 名
高校生参加人数	116 名	80 名

**(11) 第 3 次医療圏再生推進事業**

第 3 次医療圏再生推進事業費補助金の交付により、平成 23 年度から平成 28 年度にかけて南館 B 棟建て替えをはじめとする施設整備及び設備整備を行っている。平成 26 年度については、新南館 B 棟の土工事（掘削基礎工事）並びに免震装置の据え付けまで完了した。



#### 4 静岡医療福祉センター児童部 (病院等事業)

##### 基本理念

私たちはノーマライゼーション実現のため、あたたかな心をもって皆さんを応援いたします。

##### 平成 26 年度目標及び結果

- ① 虐待防止・人権擁護に関する研修会の開催
- ② 障害の克服と社会的自立のため、児童一人ひとりに応じた生活の質の向上を目指した療育の実施
- ③ 医師の確保 常勤小児科医師 1 名、産休代替え非常勤医師 1 名採用
- ④ 看護師の確保
  - ・ 5 名以上採用 正看護師 3 名採用
- ⑤ 経営の健全化
  - ・ 患者数の確保 1 日平均 入院 55 名 外来 180 名 → 入院 48.4 名 外来 188.7 名
  - ・ 施設基準の引き上げ 入院基本料 13:1 → 10:1 (H26.8 月より変更)
- ⑥ 職員の質の向上及び早期離職防止を図る
  - ・ 職種別の資質向上のため専門研修への積極参加
- ⑦ 特定・障害児相談による計画相談の実施
  - ・ 困難ケース対応中心に 132 名

##### (1) 医療型障害児入所施設事業 (一種事業) (定員 60 名)

入所児及び通院児に対し、リハビリテーションを中心にした専門的医療・教育・施設内保育・生活指導等の「総合療育」を実施した。従来の肢体不自由児療育に加え、近年発達障害児の増加が顕著であり、利用者からの幅広いニーズに応えた。入所児数及び外来患者数は前年と変わらない数となった。

( 入 所 )		( 外 来 )	
定 員	60 名 (60 名)	年間延患者	45,663 名 (45,624 名)
年間入所児童数	62 名 (64 名)	年間診療日数	242 日 (242 日)
年間退所児童数	66 名 (65 名)	一日平均患者数	188.7 名 (188.5)
年間延在所児童数	17,669 名 (18,578 名)		
[年間延在所者数	18,096 名 (18,977 名)]		
一日平均在所児童数	48.4 名 (50.9 名)		
[一日平均在所者数	49.6 名 (52.0 名)]		

疾病別人員 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

病名	年間実人員 (名)	構成比 (%)
脳性麻痺	87	86.1
進行性筋・神経疾患	2	2.0
二分脊椎	3	3.0
その他	9	8.9
計	101	100.0

月別在所児童数

年月	初日在籍者数(名)	延人数(名)
26年 4月	50	1,465
5月	47	1,521
6月	46	1,491
7月	49	1,549
8月	52	1,648
9月	46	1,365
10月	44	1,406
11月	44	1,409
12月	47	1,464
27年 1月	45	1,492
2月	47	1,353
3月	45	1,506
合計	562	17,669
月平均	46.8	1,472.4
一日平均		48.4

(2) 障害福祉サービス事業(短期入所)(二種事業)

平成 15 年 4 月より支援費制度における指定居宅支援事業所として、居宅受給者証の発行を受けた児童及び重症心身障害者の方に短期間の施設入所サービスを提供した。平成 18 年 10 月からの制度変更により、障害者自立支援法による障害福祉サービス事業所の指定を受け実施した。

- ・定員 \*空床利用型
- ・年間利用人数 169 名 (162 名)
- ・一日平均利用人数 0.46 名 (0.44 名)

### (3) 特定相談支援事業・障害児相談支援事業（二種事業）

静岡市における相談支援事業指定施設として、在宅福祉を担当する職員を配置し、在宅の障害児（者）及び保護者に対して地域生活での具体的な相談、指導、サービスの調整を実施するとともに、地域生活に根ざしたボランティアの育成を図った。

#### ア 障害者等相談支援事業（虐待相談等含む）

相談支援事業として総合的な在宅サービスの調整、援助等

支援等延件数 977名 4,327件 (3,011件)

#### イ 障害児等療育支援事業

##### (ア) 在宅支援訪問療育等指導事業

- ・派遣職員 医師、PT、OT、ST、心理士等
- ・活動先 障害児保育実施園、重度障害児（者）訓練ホームの巡回  
在宅訪問

支援等延件数 186名 186件 (210件)

##### (イ) 在宅支援外来療育等指導事業

- ・個別相談、療育音楽、グループ保育活動

支援等延件数 64名 348件 (354件)

##### (ウ) 施設支援一般指導事業

- ・障害児保育研修、発達フォローアップ教室、自主研修会等の指導等

支援回数 22回 (30回)

#### ウ 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

- ・利用者の相談支援及びサービス利用計画書の作成等

利用計画書作成件数 132件 (46件)

### (4) 日中一時支援事業（公益事業）

在宅福祉を担当する相談支援員を中心に、医療施設機能を提供しながら在宅の障害児（者）の相談支援や施設短期入所の受け入れなど、地域に住む家族の生活への具体的な支援事業を実施した。

年間合計 24名 (24名)

### (5) 高校生リハビリテーション体験スクール 0名 (67名)

費用対効果等勘案して26年度は中止とした。

(6) 研修室・会議室等利用状況

医療・社会福祉事業に携わる者の研修等の便宜に供するため、会議室等の管理運営事業を行った。

ア 会議室、ミーティング室利用状況

・社会福祉関係機関の研修会等 2,387名 (2,629名)

・福祉団体、ボランティア関係等の会議・講習会 2,486名 (3,595名)

・当福祉施設の見学研修等 43名 (280名)

イ 宿泊施設利用状況

延数 21名 (20名)

## 5 静岡医療福祉センター成人部 (社会福祉事業)

### 基本理念

- ・健康で豊かに安心して生活できるよう支援します。

### 平成 26 年度目標及び結果

**目標①** 豊かな生活を整えるため、日中活動の充実を図る。

**結果** 運動活動の中では、障害者スポーツ大会への参加に向け、目標を持って活動し、参加者のほとんどが入賞できた。余暇活動の調理活動では、体の不自由な方でも調理が出来るように、調理器具の改良やプログラムの作成を行い、技術の習得につなげることができた。

**目標②** 利用者の入院日数の減少を目指す。

**結果** 利用者の健康管理を推進するため、昨年度より健康教育を実施している。年度前半は入院日数は減少したが、後半はインフルエンザ等の感染症は流行らなかったものの、悪性腫瘍等による長期入院があり入院日数の減少には繋がらなかった。

### (1) 障害者支援施設 (一種事業) (施設入所支援 60 名、生活介護 60 名)

障害者総合支援法による障害者支援施設として、日中は「生活介護」、夜間は「施設入所支援」の 2 事業を行った。

・定員	施設入所支援	60 名 (60 名)
・年間入所者数		3 名 (1 名)
・年間退所者数		5 名 (4 名)
・年間延在所者数		19,769 名 (20,497 名)
・一日平均在所者数		54.2 名 (56.2 名)

### 疾病別人員

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

病名	年間実人員 (名)	構成比 (%)
脳卒中	32	55.2
その他の脳原性疾患	10	17.2
脳外傷	1	1.7
その他	15	25.9
計	58	100.0

## 月別生活介護・入所者数

月	入所 人数	生活介護						施設入所	
		入所		通所		合計		利用 人数	延べ利用数
		利用 人数	延べ利用数	利用 人数	延べ利用数	利用 人数	延べ利用数		
4	57	56	1,219	13	95	69	1,314	56	1,661
5	57	56	1,226	13	90	69	1,316	56	1,723
6	56	55	1,135	13	92	68	1,227	55	1,621
7	55	54	1,228	13	99	67	1,327	54	1,654
8	53	53	1,101	12	77	65	1,178	53	1,625
9	53	53	1,165	12	82	65	1,247	53	1,586
10	54	54	1,265	12	85	66	1,350	54	1,652
11	56	56	1,096	11	69	67	1,165	56	1,639
12	56	56	1,279	11	71	67	1,350	56	1,726
1	56	56	1,194	11	69	67	1,263	56	1,682
2	56	54	1,077	11	70	65	1,147	54	1,509
3	56	55	1,202	11	87	66	1,289	55	1,691
計			14,187		986		15,173		19,769

- ・定員 生活介護 60名
- ・開所日数 261日
- ・年間延利用者数 15,173名
- ・一日平均在所者数 58.1名

### (2) 障害福祉サービス事業（短期入所）（二種事業）（空床）

指定障害福祉サービス事業所として短期入所事業を空きベッドを利用して実施した。

- ・年間延利用者人数 539名 (570名)
- 1日あたり 1.5名

※ ( ) 内は平成 25 年度実績

## 6 静岡医療福祉センターライトホーム (二種事業)

### 基本理念

- ・三療免許者に対し、必要な技術及び生活指導を行い利用者の自立更生をはかる。

### 平成 26 年度目標及び結果

**目標①** 利用者 (施術者) の確保

**結果** 新規利用者 0 名、退所者 3 名

**目標②** 経営の安定化

**結果** 患者数の確保 利用客数 2,369 人 (2,747 人)

**目標③** マッサージの無料奉仕の実施

**結果** 平成 26 年 9 月 14 日 (日) 実施

**目標④** 済生会病院・ホスピタルフェアに参加、マッサージ無料体験の実施

**結果** 平成 26 年 6 月 14 日 (土) に実施

**目標⑤** 静岡市主催の「心のバリアフリーイベント」へ参加

**結果** 就労訓練活動体験コーナーにてマッサージ体験実施  
平成 27 年 3 月 7 日 (土) 実施

### (1) 入所者指導事業

入所者の技術 (鍼・灸・マッサージ) 及び生活訓練動作の指導を行い、自立生活ができるよう養成に努めた。

・定員	20 名 (20 名)
・年間新入所者数	0 名 (2 名)
・年間退所者数	3 名 (2 名)
・年間延在所者数	794 名 (1,604 名)
・一日平均在所者数	3.3 名 (5.22 名)

疾病別人員 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

疾病分類	入所実人員 (名)	通所実人員 (名)	構成比 (%)
先天性視覚障害者	0	0	0.0
中途視覚障害者	0	2	100.0
計	0	2	100.0

月別在所者数

年 月	入所者延人数 (名)	通所者延数 (名)	延人数 (名)
26年 4月	41	65	106
5月	0	80	80
6月	0	84	84
7月	0	83	83
8月	0	57	57
9月	0	60	60
10月	0	66	66
11月	0	54	54
12月	0	57	57
27年 1月	0	57	57
2月	0	46	46
3月	0	44	44
合 計	41	753	794
月平均	3.4	62.8	66.2
一日平均	0.2	3.1	3.3

(年間通所日数 242日)



## 7 静岡市発達障害者支援センター（公益事業）

### 基本理念

- ・直接支援である相談、発達、就労支援及び情報提供や啓発研修のより一層の充実を図り、医療、保健、福祉、教育、雇用、親の会など関係機関や団体と連携により専門性を持った支援職員人材育成、ペアレントメンター、地域サポーター事業養成研修等の支援を行っていく。

### 平成 26 年度目標及び結果

- ① 静岡市健康づくり推進課・保健福祉センター保育課との連携
  - ・すくすくファイルの使用の仕方説明会 親子教室へのスタッフ派遣 5 回
  - ・静岡版早期発達支援プログラムの普及 研修会の開催 5 回
  - ・健診医師・保健師・心理士のための専門研修会 2 回
  - ・ペアレントメンター派遣 3 回 など
- ② 保育士、学校支援員、支援員研修会、保育園幼稚園学校単位の内部研修会及び相談会の実施 合計 23 回
- ③ ライフステージに応じた切れ目のない支援体制の充実
  - ・静岡市特別支援教育連携協議会 本会議・専門部会 計 6 回
  - ・静岡市子ども・若者支援地域協議会 本会議・事務担当者会議 計 4 回

発達障害者支援法に基づく発達障害者に対する相談支援、発達支援、就労支援、関係機関に対する普及啓発及び研修等を行い、また、静岡市在住の自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害がある本人、家族、関係者及び関係機関からの相談支援を行った。

#### (1) 発達障害者支援センター事業

##### ア 発達障害児者、その家族及び関係機関等に対する相談支援

実支援人員	661 名 (576)	(地域内	660 名、地域外	1 名)
延支援件数	865 件 (875)	(地域内	864 件、地域外	1 件)

##### イ 発達障害児者及びその家族等に対する発達支援

実支援人員	693 名 ( 227)	(地域内	692 名、地域外	1 名)
延支援件数	1,748 件 (1,072)	(地域内	1,746 名、地域外	2 名)

##### ウ 発達障害児者に対する就労支援

実支援人員	85 名 (78)	(地域内	83 名、地域外	2 名)
-------	-----------	------	----------	------

実支援件数 226 件 (187) (地域内 224 名、地域外 2 名)

エ 関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修

(ア) センター主(共)催で企画した研修	実施回数	52 回	(33)
	延参加人数	1,658 名	(1,955)
(イ) 外部から講師依頼による職員派遣	派遣回数	23 回	(31)
	延参加人数	819 名	(1,035)
(ウ) 連絡協議会・調整会議の開催回数	実施回数	27 回	(39)
	延参加団体数	698 団体	(897)
(エ) 機関コンサルテーション支援	実施支援箇所数	58 箇所	(24)
(オ) 個別支援のための調整会議の開催回数	実施回数	255 回	(281)

(2) 家族支援・支援体制サポート強化学業

ア ペアレントメンター・地域サポーター

(ア) 養成研修	実施回数	7 回	(7)
	延参加人数	371 人	(388)
(イ) 活用による支援	実施回数	21 回	

イ 支援体制サポート強化学業による巡回

(ア) 保育園幼稚園への訪問支援	訪問箇所数	22 園	(20)
	延参加職員数	806 名	(615)
(イ) 小中学校への訪問支援	訪問箇所数	12 校	(11)
	延参加職員数	260 人	(296)

## 8 伊豆医療福祉センター（病院等事業）

### 基本理念

- ・私たちは、障がいを持つ方々の生活の充実・満足を目指して、チームを組んで医療と療育の総合的支援に取り組みます。

### 平成 26 年度目標及び結果

#### 目標

- ・待機者への対応(実定員 30 名から 43 名へ)
- ・利用者の満足度の向上(医療機器の整備、居室・活動場所の確保)
- ・在宅重症心身障害児者の福祉向上(隔日利用から毎日利用へ、送迎支援)
- ・機能充実に伴う人材の確保・職員の質の向上
- ・健全な経営

#### 結果

- ・施設整備が完了し、隔日実施であった児童発達支援事業、生活介護事業の毎日実施が可能となるなど、施設機能の充実が図られた。
- ・福祉サービスの利用にあたり義務付けられたサービス等利用計画の作成が本格化し、作成相談件数が増加した。
- ・ひとつひとつの看護・介護行為は、安全を心がけ、丁寧に実施した。安全対策委員会・感染防止委員会等を開催し、防ぐことのできる事故を起こさないよう努めた。
- ・重度・重症児（者）医療・療育講習会他へ職員を参加させ、職員の医療・療育技術の向上を図った。

#### （1）医療型障害児入所施設・療養介護事業所（一種事業）（定員計 43 名）

県の指定管理者制度が終了し、静岡県済生会が運営主体となって3年目であった。入所者は児童が10名、成人が20名となっており、成人の割合が児童を上回っている。（指定管理者制度：H18.4.1～24.3.31）

入所における療育支援のほか、外来では、脳神経外科、発達行動小児科、小児神経科、整形外科、リハビリテーション科、障害児（者）歯科による専門診療を実施した。また、在宅重症心身障害児（者）の通所事業、短期入所事業（日中一時支援事業を含む）、障害児（者）地域療育支援センター事業等を実施し、静岡県東部の障害児（者）の総合的な療育支援を担っている。

## ( 入 所 )

・定員	43名 (43名)
・年間入所児童(者)数	0名 (4名)
・年間退所児童(者)数	1名 (3名)
・年間延在所児童(者)数	10,972名 (10,860名)
・一日平均在所児童(者)数	30.1名 (29.7名)

## ( 外 来 )

・年間延患者数	23,761名 (23,455名)
・年間診療日数	284日 (275日)
・一日平均患者数	83.7名 (85.3名)

## 疾病別人員 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

病名	年間実人員(名)	構成比(%)
脳性麻痺	20	66.7
その他	10	33.3
計	30	100.0

## 月別在所児童(者)数

年	月	初日在籍者数(名)	延人数(名)	
26年	4月	31	922	
	5月	30	930	
	6月	30	900	
	7月	30	930	
	8月	30	930	
	9月	30	900	
	10月	30	930	
	11月	30	900	
	12月	30	930	
	27年	1月	30	930
		2月	30	840
		3月	30	930
計		360	10,972	
月平均		30.0	914.3	
一日平均			30.1	

## (2) 障害児通所支援事業(児童発達支援)(二種事業)

・定員	7名 (7名)
・年間延通所児数	1,120名 (678名)
・一日平均通所児数	5.0名 (7.1名)
・年間通園日数	222日 (96日)

(3) 障害福祉サービス事業（生活介護）（二種事業）

・定員	5名	(5名)
・年間延通所児数	969名	(400名)
・一日平均通所児数	4.1名	(3.1名)
・年間通園日数	238日	(129日)

(4) 障害福祉サービス事業（短期入所）（二種事業）

(5) 日中一時支援事業（地域生活支援）（公益事業）

・年間延利用人数	1,770名	(1,337名)
・一日平均利用人数	5.1名	(3.7名)
・年間実施日数	365日	(365日)

短期入所・日中一時支援の合計

(6) 障害児相談支援事業・特定相談支援事業（二種事業）

ア 特定相談支援事業・障害児相談事業

平成25年11月より、事業を開始し、相談支援専門員1名を配置し、計画相談等による支援を実施した。また、障害児（者）が充実して暮らせる地域づくりを目指し、行政機関・自立支援協議会との連携を図った。

・計画相談等	109件
--------	------

イ 静岡県障害児（者）地域療育支援センター事業

登録された障害児（者）を対象とし、在宅訪問・外来・施設支援等に対し、医師・PT・OT・ST・心理士・管理栄養士・看護師・保育士等を派遣し、在宅障害児（者）の療育指導を実施した。

・在宅支援訪問療育指導事業	64回	(70回)
・外来療育等指導事業	233回	(203回)
・施設支援一般指導事業	27回	(37回)
・各種連絡会・自立支援協議会等参加	48回	(55回)

ウ 静岡県発達障害者支援センター機能強化事業

自閉症、注意欠陥多動性障害等がある発達障害児（者）に対し、ライフステージに応じた生活を支援するため、訪問・外来・電話等の方法で、地域での福祉サービスの情報提供をとともに、学校・保護者を含む関係機関との調整会議への参加を行った。また、県発達障害者支援センターが主催する研修会へのスタッフ参加、賀茂地区の発達障害に関する巡回相談を3回実施した。

・地域生活支援事業（電話相談含む）	319回	(305回)
-------------------	------	--------

## 9 静岡県川奈臨海学園 (社会福祉事業)

### 基本理念

子どもの最善の利益のため、子どもたち一人ひとりが尊重され、心身ともに健やかに育成され、将来健全な社会の一員として、自立できるように支援を行う。

### 平成 26 年度目標及び結果

**目標①** 「児童養護施設等の小規模化及び家庭的養護の推進」について、関係機関及び行政との連携、静岡県との相談のうえ、施設のあり方を視野に入れ検討していく。

**結果** 行政、法人支部との検討会を持った。施設の建替えも含め、「家庭的養護の推進計画」を策定し、27 年度も引き続き検討課題とする。

**目標②** 家族との連携及び協働について、家族再統合のできる家庭との調整

**結果** 担当職員が、児童相談所職員と協力体制をとり、入所児童の家族との話し合い、相談等に応じ、家族再統合を目標に支援を行った。

**目標③** 里親支援相談員を配置し、里親の研修、実習等を実践し、新たな里親の開拓や、資質の向上をサポートしていく。

**結果** 里親サロン、里親研修等への積極的な参加、施設での里親研修や実習も受け入れた。新たな里親の開拓も実現し、新規ショートルフラン※や入所児童の養育里親も実現した。

※ ショートルフラン 児童養護施設などに入所している子どもを週末や長期休みの間に、一時的に預かり家庭生活を体験するという制度

### (1) 児童養護施設運営事業 (一種事業)

虐待を受けた児童が増加する中、2 才児から高校生ままで月平均 67.4 名の子ども達に対し、職員全体が関わりながらより良いケアに努力した。

・ 定員 (暫定定員)	80 名	暫定定員 73 名	(77 名)
・ 年間入所児童数		17 名	(6 名)
・ 年間退所児童数		11 名	(10 名)
・ 年間延在所児童数		24,588 名	(23,186 名)
・ 一日平均在所児童数		67.4 名	(63.4 名)

入所理由別人員 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

入 所 理 由	年間実人員 (名)	構成比 (%)
慢 性 疾 患	9	11.5
精 神 疾 患	8	10.3
養 護	61	78.2
計	78	100.0

### 月別在所児童数

年	月	初日在籍者数 (名)	延人数 (名)	
26年	4月	61	1,830	
	5月	62	1,922	
	6月	62	1,944	
	7月	66	2,046	
	8月	67	2,071	
	9月	68	2,021	
	10月	68	2,108	
	11月	68	2,040	
	12月	72	2,232	
	27年	1月	72	2,229
		2月	71	1,990
		3月	72	2,155
計		809	24,588	
月平均		67.4	2,049	
一日平均			67.4	

#### ア 小規模グループケア

小規模グループケア棟で定員6名、専任職員と本体施設職員がシフトを組み、児童との関係を密接にし、ケアの内容を深めた。

#### イ 乳幼児受け入れ

川奈幼稚園や近隣地域と連携を取り、理解と協力を得ながら、積極的な乳幼児の受け入れを行った。(月平均14.3名在園)

### (2) 病児・病後児保育事業

- ・登録児童数 707名 (675名)
- ・年間利用延児童数 246名 (243名)
- ・月平均利用児童数 20.5名 (20.3名)

## 10 静岡市心身障害児福祉センターいこいの家（社会福祉事業）

### 基本理念

いこいの家は児童憲章の精神を尊び、障がいのあるこども、又はその可能性のあるこどもが地域で育つ時に生じる様々な問題や発達への基盤である家庭生活への支援により、こども達の健やかな育ちと安心、安全な生活の達成に努めます。

### 平成 26 年度目標及び結果

**目標** 障がい幼児の通園事業を核として、発達の遅れが心配な就園前幼児の親子教室・療育相談や、保育所・幼稚園に就園している幼児の保育所等訪問支援、障がい児の相談支援等の事業の一層の充実を図る。

**結果** 通園事業に関しては、医療的ケアの必要な幼児も含め安定して通園でき、出席日数も増加した。また、親子教室は診断なしでいつでも利用できるということから、歩行可能で発達の気になる幼児の利用が増加した。

保育所等訪問支援は、保護者の希望はあるものの訪問先の幼稚園・保育園の理解が薄く、これからも啓発の必要性を感じている。

相談事業は、福祉サービスを受けるためには 27 年 4 月より支援計画が必要となり、計画作成の依頼が急激に増えているが、全てに対応できない状況である。

#### （1）児童発達支援（障害児通所支援事業）事業（二種事業）

就学前の心身障害児に対して集団参加を通して、生活と遊びを充実させ、健やかな成長、発達をしていくように支援し、併せて就園・就学に向けての基礎作りをした。

・入園児数（定員）	50 名	（50 名）
・年間新入所児童数	15 名	（23 名）
・年間退所児童数	24 名	（15 名）
・年間延在所（通園）児童数	9,511 名	（9,030 名）
・一日平均在所（通園）児童数	39.1 名	（37.2 名）

疾病別人員

（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

病 名	年間実人員（名）	構成比（%）
脳 性 麻 痺	7	14.0
自閉症(自閉傾向を含む)	17	34.0
精神遅滞(発達遅滞を含む)	6	12.0
染色体異常(ダウン症他)	8	16.0
その他	12	24.0
計	50	100.0



月別在所児童数

年 月	初日在籍者数	延 人 数	
26年	4月	50	694
	5月	50	807
	6月	50	848
	7月	50	909
	8月	50	724
	9月	50	818
	10月	50	824
	11月	50	774
	12月	50	784
	27年	1月	50
2月		50	777
3月		50	845
合 計	600	9,511	
月平均	50	792.6	
一日平均		39.1	

(年間通所日数 243 日)

(2) 地域療育支援事業

ア 療育相談(随時) 41名(64名) 一般相談(電話及び来所) 278名(244名)

イ 障害相談支援事業・特定相談支援事業

障害児支援利用計画	100件
特定相談計画	1件
モニタリング	55件
一般相談	118件
電話相談	674件
訪問支援	93件
その他	195件

ウ 親子教室 年間 238回(月平均 19.8回) 登録者数 139名(146名)

参加児延数 1,695名(1,862名)

エ 障害児通所支援事業(保育所等訪問支援)

訪問相談	37件
来所相談	55件
電話相談	167件

(3) 地域交流等

地域に開かれた通園施設として、地元をはじめ広く市民やボランティア、学生、主婦の方々との交流を実施した。

- ・いこいの家通信発行 12回(12回) 380部(360部)・夏祭り参加者 449名(505名)
- ・城東保健福祉エリア地域交流まつり参加者 約 4,500名(約 5,000名)
- ・実習生 34名(31名) 延 241名(253名)・体験研修 26名(17名) 延 55名(17名)
- ・ボランティア受入個人 15名(27名) 団体 57名(58名) 延 462名(387名)

## 11 小 鹿 苑（社会福祉事業）

### 基本理念

・私たちは、ご利用者一人ひとりの声に耳を傾け、真に、ご利用者の立場に立った支援を実践します。

### 平成 26 年度目標及び結果

地域の老人福祉に貢献し、利用者本位の視点で各事業を行い、選ばれる施設となるよう一層の努力をし、安定経営ができるよう総合的な事業展開を図る。

**目標①** 入所者の良好な生活環境を保持し、快適な暮らしの提供に努める。

- ・ ナースコール設備を更新し、PHS 電話を導入することにより迅速な個別対応を行う。
- ・ 居室以外の共用スペースを整備し、より快適な居住環境を提供する。

**結果**

- ・ PHS 電話によるコールを導入し、迅速な個別対応が可能となった。
- ・ 中庭の改良工事を行ったため、安全に庭に出られるようになり、ご家族と共に面会時に季節の花を楽しむことなどが可能となった。

**目標②** 住み慣れた地域で安心して生活できるように、在宅サービス事業が中心となって地域のサービス窓口となるよう活動する。

- ・ 在宅サービス事業担当者が連携を取り、地域で周知活動を行う。

**結果**

- ・ 静岡済生会総合病院のホスピタルフェアに参加し、広報活動及び相談窓口を設けた。
- ・ 虐待事案や緊急対応など、病診連携を含めて速やかな対応に繋がった。

### （1）特別養護老人ホーム運営事業（一種事業） 80 名定員（80 名）

ロビー等の整備を行い、ブロックケアが充実され利用者が日中をより快適に過ごせるようになった。

中庭の改良により 2 階ロビーから中庭を見渡せるようになり、またご家族と季節の花を楽しむことができるようになった。

前年から継続してポジショニング（褥そう等の予防のための姿勢矯正）を行うことにより、介護度の高い方の QOL の向上に取り組んだ。

新規の入所申込が 73 件あり平成 26 年度末現在で入所希望者は 135 名（135 名）である。

・年間入所者数	34名 (29名)
・年間退所者数	34名 (28名)
・一日平均在所者数	77.6名 (77.4名)
・入所者平均年齢	85.1歳 (83.8歳)
・平均介護度	3.7 (3.6)

疾病別人員 (平成26年4月1日～平成27年3月31日現在)

病名	年間実人員 (名)	構成比 (%)
脳卒中等	32	28.0
認知症等	45	39.5
心疾患等	5	4.4
リウマチ、脊椎症等	9	7.9
その他	23	20.2
計	114	100.0

## (2) 短期入所事業 (二種事業)

定員 20名 (20名)

施設入所等により 29 名利用者が減少し、新規利用者は 42 名であった。

例年どおり、週末・連休期間の希望者は多数であった。また、一人年間利用日数は平均 55.5 日 (53.6 日) であった。

・年間延利用者数	6,387名 (6,384名)
・月平均延利用者数	532.3名 (532名)
・一日平均利用者数	17.5名 (17.5名)
・利用者平均年齢	84.5歳 (85.2歳)
・平均介護度	3.1 (3.3)

## (3) 通所介護事業 (二種事業)

定員一日 35名 (35名)

通常規模型 (月次 301 名以上 750 名以下) でサービスを行った。

施設入所等により 19 名の利用者が減少し、新規利用者は 21 名であった。

・年間延利用者数	6,710名 (7,175名)
・月平均延利用者数	559.2名 (597.9名)
・一日平均利用者数	21.9名 (23.4名)
・年間実施日数	307日 (307日)
・利用者平均年齢	87.2歳 (86.5歳)
・平均介護度	要支援 1.7 要介護 2.2 (要支援 1.7、要介護 2.1)

#### (4) 訪問介護事業（二種事業）

15名（18名）のホームヘルパーが稼働した。施設入所等により20名の利用者が減少し、新規利用者は22名であった。

・年間延利用者数	7,224名（7,838名）
・月平均延利用者数	602.0名（653.2名）
・一日平均利用者数	23.3名（25.1名）
・年間活動日数	310日（312日）
・利用者平均年齢	81.2歳（80.0歳）
・平均介護度	2.6（2.8）

#### (5) 地域包括支援センター運営事業（公益事業）

静岡市からの受託事業であり、主に地域支援事業と指定介護予防事業を行った。西豊田、東豊田、東源台小学校区を担当し、高齢者の方からの総合相談、介護保険要支援認定者の予防プラン作成を行い、関係機関や民生委員との連携により問題解決に努めた。

支援困難ケースについて、その取り組みの検討や、地域課題の抽出を目的とした地域ケア会議を実施した。

・年間延相談者数	1,250名（1,077名）
・月平均相談者数	104.2名（89.8名）
・一日平均相談者数	4.1名（3.5名）
・介護予防支援（直営・委託）	3,784件（3,841件）
・年間活動日数	307日（308日）

#### (6) 居宅介護支援事業（公益事業）

4名（4名）のケアマネジャーが稼働し、ケアプランを作成した。要介護認定調査は年間123件（101件）であった。

・年間ケアプラン給付管理者延数	1,457件（1,344件）
・月平均数	121件（112件）
・ケアプラン新規作成者	57名（56名）
・平均介護度	2.4（2.6）

月別在所（利用）者数

区分	特 養		短 期		デｲｲｰﾋﾞｽ		ﾎｰﾑヘルﾊﾟｰ		地域包括支援センター	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
26年4月	82	2,348	67	541	68	568	74	670	85	108
5月	84	2,385	67	576	75	625	75	668	77	99
6月	81	2,313	62	554	75	598	75	654	66	96
7月	82	2,391	65	583	74	623	72	663	135	172
8月	82	2,449	64	561	70	567	69	588	89	113
9月	81	2,349	65	532	72	542	66	591	55	76
10月	81	2,407	66	587	71	536	67	606	75	108
11月	81	2,306	57	577	72	541	70	583	95	118
12月	80	2,409	56	530	75	518	67	566	69	98
27年1月	81	2,345	45	324	72	524	68	529	78	114
2月	81	2,142	57	491	73	514	67	546	55	70
3月	80	2,471	55	531	72	554	68	560	60	78
合計	976	28,315	726	6,387	869	6,710	838	7,224	939	1,250
月平均	81.3	2,359.6	60.5	532.3	72.4	559.2	69.8	602.0	78.3	104.2
一日平均		77.6		17.5		21.9		23.3		4.1

## 12 小鹿なでしこ苑 (社会福祉事業)

### 基本理念

あなたがあなたらしく 私が私らしく

### 平成 26 年度目標及び結果

**目標①** ホウレンソウ (報告・連絡・相談) を徹底し、情報を共有する。

**結果** イン트라ネット及び事務所内の掲示板を充実し、情報共有に努めた。

**目標②** 介護技術の向上に努め、サービスの質の向上を目指す。

**結果** 採用時研修の強化、苑内研修の内容の充実を図った。また、苑外研修に延べ 70 名が 40 講座に参加し、コンプライアンスや介護技術の向上を図ることに努めた。

**目標③** 利用者の立場で考えることを実行する。

**結果** 処遇委員会、ユニット会議等において、サービスの改善について検討を重ねた。

**目標④** 「自分がその立場だったら」から、言動・行動を選択する。

**結果** 接遇マナーの苑外研修に参加し、伝達講習を行なった。

**目標⑤** 自己啓発を実行し、専門職の力量を高める。

**結果** 社会福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー資格取得のための勉強会を開催し、資格取得や技術力アップを図った。

**目標⑥** 1 年間の目標を定め、それに向け努力する。

**結果** ユニットごとに研究課題を定め、苑内で研究発表会を行った。また、「第 6 回静岡県高齢者福祉研究大会」で研究発表を行った。

**目標⑦** 提供したサービスの反省を行い、サービスの質の向上に努める。

**結果** 各ユニットにおいて、個人のカンファレンスを行い、提供したサービスについての成果をモニタリングし、必要に応じサービス内容を変更した。

**目標⑧** コストの削減に努める。

**結果** オムツはずしの更なる推進、省エネ運動の継続、共同購入や一括購入等による更なるコストの削減に努めた。

### (1) 特別養護老人ホーム運営事業 (一種事業) 定員 96 名 (96 名)

ユニットケア研修への参加や看取りを推進し、24 時間シートやケアチェックシートなどを見直し、入居者の処遇改善に努めた。

・年間新入所者数	12 名	(15 名)
・年間退所者数	10 名	(16 名)
・一日平均在所者数	95.6 名	(94.9 名)
・入所者平均年齢	84.4 歳	(84.6 歳)
・平均介護度	3.4	(3.3)

(2) 短期入所事業（二種事業）定員 13 名（12 名）※

日中活動のさらなる充実等のサービス向上を図り、より利用しやすい環境整備を行なっていく。定員 12 名から 13 名に変更（H27.01.01～）※

・年間延利用者数	3,555 名	(3,777 名)
・月平均延利用者数	296.3 名	(314.8 名)
・一日平均利用者数	9.7 名	(10.3 名)
・利用者平均年齢	83.7 歳	(85.2 歳)
・平均介護度	3.5	(3.4)

(3) 通所介護事業（二種事業） 定員一日 12 名（12 名）

認知症対応型のデイサービスは通常型のデイサービスに比べて、単価が高いため利用日数が制限されることや、介護度が高いため施設入所や短期入所の利用で在籍期間が短くなることなどから、登録者数・一日平均利用者数を増やすことが難しい状況が続いている。

・年間延利用者数	1,583 名	(1,720 名)
・月平均延利用者数	131.9 名	(143.3 名)
・一日平均利用者数	5.2 名	(5.6 名)
・年間実施日数	304 日	(307 日)
・利用者平均年齢	86.1 歳	(82.9 歳)
・平均介護度	3.2	(2.7)

月別在所（利用）者数

区分 年 月	特 養		短 期		通 所	
	人数※	在所者延人数	人数	利用者延人数	人数	利用者延人数
26 年 4 月	96	2,858	31	290	21	131
5 月	96	2,976	35	326	22	142
6 月	95	2,878	35	319	23	127
7 月	96	2,967	37	318	21	131
8 月	96	2,976	37	315	22	138
9 月	96	2,874	37	301	22	145
10 月	96	2,971	39	296	24	162
11 月	95	2,880	37	265	22	133
12 月	95	2,960	37	289	21	132
27 年 1 月	94	2,930	38	287	21	116
2 月	94	2,670	38	256	21	107
3 月	96	2,941	34	293	20	119
合計	1,145	34,881	435	3,555	260	1,583
月平均	95.4	2,906.8	36.3	296.3	21.7	131.9
一日平均		95.6		9.7		5.2

※月末入所者数

### 13 静岡市桜の園 (社会福祉事業)

#### 基本理念

「あなたらしさを応援します」

・人権を尊重し、日々有効なサービスを展開します。そして常に生活の豊かさを求めます。

#### 平成 26 年度目標及び結果

**目標①** 前年度から引き続き質の高いサービスを提供するために日中活動の充実強化を図り、地域に開かれた施設づくりを目指します。

**結果** 活動的に過ごしたいという利用者のニーズに応えるために、個々の希望を募り、日中活動のプログラム化に取り組んだ。  
施設主催のお祭り (秋桜祭)、地域防災訓練などを通じ地域町内会と交流を行った。

**目標②** 生活介護は利用料金制である。安定した運営のため、目標の利用者数を確保する。  
(1 日平均利用者、生活訓練ホーム 19 名・生活訓練ホーム城北館 14 名)

**結果** 生活介護利用者は目標の利用者数を達成した。

(1 日平均利用者、生活訓練ホーム 19.5 名・生活訓練ホーム城北館 14.0 名)

**目標③** 入所者の地域移行の推進と本人の意向に沿った生活の選択への支援を行う。

**結果** 入所者 1 名の地域移行支援を実施した。

#### (1) 身体障害者支援施設事業 多機能型 (一種事業) (定員 115 名) (115 名)

##### ア 施設入所支援 (定員 50 名)

##### イ 施設入所をともなう生活介護 (定員 50 名)

利用者主体のサービス体系の確立をすることが、利用者の QOL の向上に最も大切なことを念頭において事業運営を行った。

特に個別サービスの充実に重点をおき、個別支援計画の策定、日中活動の充実、グループケアの実施、医務においては年 2 回の健康診断の実施・日常での健康状態の観察、異常の早期発見と迅速な対応を心がけた。

また、OT (作業療法士) による集団・個別リハビリの継続・充実に努めるとともに、給食においてはお好み夕食・季節のメニュー・小グループでのお鍋などを実施した。

さらに、地域社会との交流については、行事 (秋桜祭、防災訓練等) への参加によって交流を深めるとともに、社会福祉教育実践の場として各種養成機関の実習生の受け入れ及び高校生・一般の方々をボランティアとして受け入れた。



- ・年間入所者数 1名 (3名)
- ・年間退所者数 3名 (2名)
- ・年間延在所者数 施設入所支援 17,396名 (17,720名)  
生活介護 12,475名 (12,728名)
- ・一日平均在所者数 施設入所支援 47.7名 (48.5名)  
生活介護 47.8名 (48.8名)

疾病別人員 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

病名	年間実人員 (名)	構成比 (%)
脳卒中	7	14
脳性麻痺	20	39
脳外傷	7	14
脊髄小脳変性症	1	2
脊椎損傷	7	14
下肢機能障害	4	8
その他	5	9
計	51	100

月別在所(利用)者数 (名)

区分 年月	入所支援		生活介護	
	人数	延人数	人数	延人数
26年 4月	50	1,481	50	1,090
5月	50	1,517	50	1,085
6月	50	1,481	50	1,037
7月	50	1,476	50	1,100
8月	49	1,492	49	1,012
9月	49	1,415	49	1,041
10月	49	1,463	49	1,089
11月	49	1,391	49	929
12月	49	1,458	49	1,082
27年 1月	49	1,484	49	1,055
2月	49	1,306	49	937
3月	49	1,432	49	1,018
合計	592	17,396	592	12,475
月平均	49.3	1,449.6	49.3	1,039.5
一日平均		47.7		47.8

(入所支援日数 365日・入所生活介護日数 261日)

ウ 通所生活介護（定員 50 名）

（生活訓練ホーム静岡市桜の園 25 名、生活訓練ホーム城北館 25 名）

利用者への支援

- ・ ADL の維持、QOL の向上に関する支援
- ・ グループ活動を通して社会性を高める支援
- ・ 生活圏を拡げ社会参加を促す支援等

家庭への支援

- ・ 安全かつ安心の場の提供
- ・ 各種サービスの実施
- ・ 各種相談の受付

生活訓練ホーム静岡市桜の園

- ・ 実利用人数 52 名 (44 名)
- ・ 年間延利用者数 4,724 名 (4,432 名)

生活訓練ホーム城北館

- ・ 実利用人数 22 名 (18 名)
- ・ 年間延利用者数 3,380 名 (2,803 名)

利用者数調 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

区 分	定 員	年 間 新利用者数	年 間 退所者数	年 間 延利用者数	一日平均 利用者数
生活訓練ホーム 静岡市桜の園	25 (25)	9 (22)	5 (3)	4,724 (4,432)	19.5 (18.2)
生活訓練ホーム 静岡市城北館	25 (25)	5 (2)	2 (1)	3,380 (2,803)	14 (11.5)

月別利用者数 (名)

区 分	生活訓練ホーム静岡市桜の園		生活訓練ホーム城北館			
	年 月	初日在籍者数	延 人 数	初日在籍者数	延 人 数	
26 年	4 月	44	405	21	304	
	5 月	43	386	21	291	
	6 月	44	408	21	302	
	7 月	46	428	21	322	
	8 月	46	387	21	302	
	9 月	46	377	22	296	
	10 月	46	390	22	299	
	11 月	46	351	21	246	
	12 月	47	377	21	263	
	27 年	1 月	49	391	21	232
		2 月	48	388	21	236
		3 月	48	436	20	287
合 計	553	4,724	253	3,380		
月平均	46.1	393.7	21.1	281.7		
一日平均		19.5		14.0		

(年間通所日数 242 日)

エ 自立訓練（機能訓練） 定員 15名（15名）

総合支援法による機能訓練・送迎・入浴・食事のサービスを提供するとともに、利用者のニーズに応じて市内各所への外出等、社会性向上の活動や、専門家による創作的活動等の事業を実施した。

- ・実利用人数 5名（5名）
- ・年間延利用者数 210名（197名）
- ・一日平均利用者数 0.9名（0.8名）

**（2）日中一時支援事業（公益事業） 自立訓練（機能訓練）空床利用**

日中において一時的な見守りその他の支援が必要とする障害者に対して送迎・入浴・食事のサービスを提供した。

- ・実利用人数 19名（22名）
- ・年間延利用者数 808名（1,000名）
- ・一日平均利用者数 3.3名（4.1名）

**（3）障害福祉サービス事業（短期入所）（二種事業） 定員 5名（5名）**

4市町から利用があった。新規利用者は4名（13名）であった。定期的に利用する方が増加しており、実利用人数の半数以上に上っている。対応が困難な方に対しては、利用者本人、ご家族の要望を取り入れる工夫をし、適切なサービスを提供するよう努めた。静岡市からの要請により緊急の受け入れを行った。

- ・実利用人数 42名（51名）
- ・年間延利用者数 1,103名（1,096名）
- ・一日平均利用者数 3.0名（3.0名）

月別在所（利用）者数 (名)

区 分	自立訓練（機能訓練）		日中一時		短期入所			
	人数	延人数	人数	人数	人数	延人数		
26年	4月	5	19	18	77	17	96	
	5月	4	15	19	72	21	97	
	6月	4	18	19	73	19	110	
	7月	3	15	19	81	22	102	
	8月	3	17	18	71	23	98	
	9月	3	15	18	64	17	66	
	10月	3	19	18	66	21	87	
	11月	3	17	18	56	21	87	
	12月	3	17	18	62	17	67	
	27年	1月	3	19	18	57	16	95
		2月	3	18	18	62	15	111
		3月	3	21	18	67	15	87
合 計	40	210	319	808	224	1,103		
月平均	3.3	17.5	18.3	67.3	18.7	91.9		
一日平均		0.9		3.3		3.0		

(年間通所日数 242日)

## 14 静岡市心身障害者ケアセンター（社会福祉事業）

### 基本理念

一人ひとりが地域の一員として、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者が主役となり地域福祉に貢献できる施設を目指します。

### 平成 26 年度目標及び結果

**目標①** 送迎、入浴など利用者の意向にできる限り沿ったサービス提供に努める。

**結果** 送迎の見直し…自立訓練を週 2 回利用希望の方には、ルートの再編を行い送迎可能な曜日を提案した。

入浴の見直し…日中一時利用者で複数回利用され、その都度入浴されている方に対し説明をし、理解を得た上で 1 回の入浴に変更していただき、自立訓練利用の入浴希望者へサービス提供を行った。

**目標②** 相談支援や関係機関との連携により、新規利用者の発掘に努める。

**結果** 民生委員から相談支援事業を経て利用に至ったケースや、障害福祉サービス対象者で、介護保険のみを利用していただいていた方がケアマネージャーを経て利用開始したケースなど、ご自身の意思表示だけではこれまで利用につながらなかった方の利用開始が 10 ケースと増加している。

**目標③** 様々な障害を持った方にも対応できるマンパワーを育てる。

**結果** 高次脳機能障害、重症心身障害児(者)対応研修等の外部研修へ積極的に参加した。障害理解のため、職員間で話し合いの場を持ち、対応可能な利用者の幅を広げられるよう努力した。

**目標④** 利用者の意思や人権の尊重の徹底を図る。

**結果** 利用者間での不満や不安の訴えがあった際には、話し合いの場を設定する等、問題解決のための聞き取りを行い、利用者の意思を尊重しながら、集団生活での基本的なルールやマナーの中で、安心・安全にサービスの提供をできるように努めた。

静岡市心身障害者ケアセンターは、静岡市の指定管理者として自立訓練事業（機能訓練・生活訓練）を実施しており、自立訓練のサービス支給期間が終了した後、継続利用を希望される方については、空席利用として日中一時支援事業を実施している。

家族構成や利用者自身の身体的、精神的状況の変化等に伴う新たなニーズに応じ、支援の見直しが必要となる方に対して、本人や家族、必要な関係機関と情報の共有を図りながら対応している。

また、併設の障害者生活支援センター城東は、静岡市障害者等相談支援事業として市より委託を受け、委託支援事業及び特定相談・障害児相談支援事業を実施している。

疾病別人員 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

病 名	年間実人員 (名)	構 成 比 (%)
(身体障害)		
脳性麻痺	43	51.2%
脳血管障害	13	15.5%
脳外傷	5	5.9%
脊椎損傷	4	4.8%
その他	19	22.6%
計	84	100.0%
(知的障害)		
知的障害	32	55.2%
脳性麻痺	3	5.2%
ダウン症	9	15.5%
自閉症	11	18.9%
その他	3	5.2%
計	58	100.0%

(1) 障害福祉サービス事業 [自立訓練 (機能訓練)] (二種事業) (定員 20 名)

機能訓練の利用者は、身体機能の維持・向上、生活上の必要な訓練を、静岡医療福祉センターから訓練スタッフの派遣を受けて実施している。

- 登録者数 機能訓練 18 名 (15 名) ・ 利用実績延数 646 名 (540 名)

月別利用者数

区 分		機能訓練		区 分		機能訓練		
年 月	実人員(名)	延人数(名)	年 月	実人員(名)	延人数(名)	年 月	実人員(名)	延人数(名)
26 年	4 月	15	58	27 年	1 月	17	59	
	5 月	13	49		2 月	18	61	
	6 月	13	51		3 月	18	72	
	7 月	13	54	合 計	177		646	
	8 月	13	44		月平均	14.8		53.8
	9 月	13	41			一日平均	2.6	
	10 月	13	52					
	11 月	14	47					
	12 月	17	58					

(年間通所日数 244 日)

(2) 障害福祉サービス事業 [自立訓練 (生活訓練)] (二種事業) (定員 10 名)

生活訓練の利用者は、精神障害の合併により就労事業所等への通所が困難になった方や、こだわりが強く配慮の必要な方が利用されている。

- 登録者数 生活訓練 25名(13名) ・ 利用実績延数 728名(549名)  
月別利用者数

区 分		生活訓練		区 分		生活訓練	
年	月	実人員(名)	延人数(名)	年	月	実人員(名)	延人数(名)
26年	4月	13	52	27年	1月	20	69
	5月	13	52		2月	23	74
	6月	13	51		3月	25	86
	7月	13	57	合 計		198	728
	8月	12	46	月平均		16.5	60.7
	9月	12	44	一日平均			3.0
	10月	14	61				
	11月	20	64				
	12月	20	72				

(年間通所日数 244日)

### (3) 日中一時支援事業(公益事業)(空席利用)

現在、自立訓練サービスの支給期間が終了した方の多くが継続利用を希望され、日中一時での利用となっている。入浴や送迎を希望される方が多く、安全に利用していただけるように対応している。

- 登録者数 身体利用 66名(75名) 利用実績延数 3,001名(3,233名)  
知的利用 33名(41名) 利用実績延数 1,717名(1,762名)  
月別利用者数

区 分		日中一時支援		区 分		日中一時支援	
年	月	実人員(名)	延人数(名)	年	月	実人員(名)	延人数(名)
26年	4月	116	413	27年	1月	102	360
	5月	119	400		2月	102	348
	6月	117	416		3月	99	395
	7月	115	449	合 計		1,317	4,718
	8月	113	423	月平均		109.8	393.2
	9月	113	408	一日平均			19.3
	10月	110	415				
	11月	107	336				
	12月	104	355				

(年間通所日数 244日)

### (4) 特定相談支援事業・障害児相談支援事業(二種事業)

#### ア 障害者等相談支援事業

障害者生活支援センター城東は、身体障害を中心に在宅の障害者・家族の相談に関わり、必要な機関との連絡・調整を行い、支援を行っている。

- (ア)相談件数 1,051件(1,425) (内、ピアカウンセリング 89件)  
相談人員 151名(531) (内、ピアカウンセリング 22名)

- (イ)その他の活動 身体障害者生活支援事業 53回(66)

- ・社会資源を活用するための支援（パソコン教室） 48回
- ・社会生活力を高めるための支援（外出支援等） 5回

(ウ) 参加会議	主催した個別支援会議	3回	(5)
	参加した個別支援会議	11回	(10)
	連絡調整会議等	17回	(17)

(年間開所日数 244日)

イ 障害福祉サービス等の利用計画の作成（特定相談・障害児相談支援）

障害者生活支援センター城東は、静岡市の「指定相談支援事業所」として、障害福祉サービスの利用（身体・知的・精神）に関するサービス利用計画書を作成している。

(ア) 相談件数 1,448件（内、児童 16件）  
 相談人員 221名（内、児童 3件）

(イ) サービス利用等計画作成

実人員 208名（148） ・ 延件数 1,448名（2,112）

## 15 ワーク春日（社会福祉事業）

### 基本理念

明るく楽しく働くあなたを応援します。

### 平成 26 年度目標及び結果（就労継続 B 型事業所）

**目標①** 1 日の平均利用 27 名。医療福祉関係機関等と連携した利用者の確保

② 利用者個々の社会参加、就労に向けた支援

**結果** 目標の 1 日平均利用者 27 名に及ばなかった。関係機関と連携を図り、新規利用者は昨年度（10 名）を上回る 16 名あったが、一般就労した者はいなかった。

**目標③** 多くの利用者が関われる作業の開拓

**結果** 授産事業は、点字印刷を中心に例年並みの作業を行うことができた。また、他の授産施設から継続的に下請け作業を回してもらえるようになり、安定して作業を提供できるようになった。

### （1）就労継続支援事業 B 型（二種事業）（定員 30 名）

就労継続 B 型事業では、1 日平均 25.6 名の利用であったが、利用登録者数 40 名となった。また、利用者 1 人あたりの工賃は 255.5 円と昨年度を若干上回ることができた。

一日平均利用者数	25.6 名	(28.0)
平均工賃額（時間給）	255.5 円	(254.9)

### ●月別利用者数

	利用登録者数	新規利用者数	退所者数	開所日数	利用のべ人数	一日平均利用者数
4 月	33	1	-	21	542	25.8
5 月	33	-	-	20	501	25.1
6 月	33	-	-	21	481	22.9
7 月	35	2	2	23	555	24.1
8 月	36	3	1	21	513	24.4
9 月	37	3	-	20	540	27.0
10 月	37	-	2	22	548	24.9
11 月	37	2	-	18	476	26.4
12 月	39	2	1	19	532	28.0
1 月	40	2	1	19	515	27.1
2 月	39	-	-	19	474	24.9
3 月	40	1	-	22	578	26.3
合計	-	16	7	245	6,255	25.6



●障害別利用者数（平成 27 年 3 月現在）

		男	女	合計	(備考)
身体障害	視覚	1	3	4	知的との重複 1 名
	聴覚	1	-	1	視覚との重複 1 名
	肢体不自由	15	7	22	知的との重複 3 名 精神との重複 1 名
	内部	2	-	2	
知的障害		2	2	4	
精神障害		3	4	7	
合 計		24	16	40	

(2) 福祉ホーム事業（二種事業）（定員 6 名）

安全かつ快適な居住の場を提供するとともに、地域生活に向けての援助を行った。昨年度は、1 名はグループホーム、2 名は一般アパートに転居し、地域移行への援助の成果が現れた年であった。1 日平均の利用者数は 2.8 名であった。

利用者数

	利用者数（名）	
定員	6	(6)
一日平均利用者数	2.8	(4.9)

## 16 静岡済生会看護専門学校 (公益事業) (定員 120 名)

**基本理念**

- ・ 済生の精神に基づき、対象となる人間を生命尊厳や個人が尊重されるかけがえのない存在として捉え、それぞれの健康段階にある人に看護が実践できるような専門職業人を目指す。

**平成 26 年度目標及び結果**

- ・ 看護を必要とする人を総合的に理解する能力を養い、看護に必要な知識・技術を習得し、それぞれの健康段階にある人に応じた看護が実践できる基礎的能力を養った。
- ・ 保健・医療・福祉に貢献できる看護師を育成することを目的に、それぞれの学年目標を掲げ、学校での基礎的学習や臨地実習での技術習得に励んだ結果、対象の学年においては、国家試験全員合格など、ほぼ目標を達成することができた。

本年度においては、次のとおり 114 名 (119 名) の看護師養成教育を行った。

この運営には、136,125,930 円 (142,137,257 円) の経費を要し、うち、18,466,000 円 (18,398,000 円) の補助金を県から受けた。

看護養成においては、教育課程の適正な運用を図り、個々の学生への学習指導を充実・強化して実践した。また、臨地実習においては、臨床指導者と教員との連携を図り、学生への指導体制を整えて協働して指導に当たった。学生一人一人の理解度に応じた学習を支援し、その結果、受験生 34 人全員が国家試験に合格することができた。

また、看護師としての適性がある学生を確保するため、学校説明会やオープンスクールを開催するとともに、県内のナースセンター主催の看護学校進路説明・相談会への参加や高等学校訪問により、看護学生を目指す学生を募集した。

**(1) 学年別在籍者数**

区分	1 年次生	2 年次生	3 年次生	計
平成 26 年度	35 名	40 名	39 名	114 名
平成 25 年度	40 名	36 名	43 名	119 名

## (2) 入学試験結果状況

(名)

区 分		平成 27 年度入試	平成 26 年度入試
受験者	推薦入試	32	31
	社会人入試	18	26
	一般入試	123	207
	計	173	264
合格者	推薦入試	18	18
	社会人入試	2	1
	一般入試	40	42
	計	60	61
入学者	推薦入試	18	18
	社会人入試	1	1
	一般入試	21	17
	計	40	36

## (3) 卒業生の状況

(名)

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度
済生会総合病院	31	33
その他県内病院	1	2
県 外 病 院	1	2
進 学	1	1
そ の 他	0	0
計	34	38

## (4) 看護師国家試験結果状況

(名・%)

	平成 26 年度			平成 25 年度		
	受験者数	合格者数	合格者率	受験者数	合格者数	合格者率
静岡済生会看護専門学校	34	34	100.0	38	38	100.0
県内看護専門学校(3年課程)	-	-	96.9	-	-	95.1

平成 26 年度合格率 96.9%は、県地域医療課から入手した新卒者の合格率である。

平成 25 年度合格率 95.1%は、厚生労働省が発表した新卒者の合格率である。

## 17 静岡済生会訪問看護ステーションおしか（公益事業）

### 基本理念

・障害や疾病を持ち、地域で生活している人々に対して、住みなれた地域で、我が家で安心して『その人らしく心豊かな生活』ができるよう、温かく思いやりの心で質の高い看護を提供します。

### 平成 26 年度目標及び結果

**目標①** 安定した運営をめざす

**結果** 訪問延件数は 16,641 件で目標の達成率 90%。利用者実人数は増加しているが、訪問延件数、平均単価は昨年同様。特定機能強化型ステーションの指定は取れなかった。おしか苑居宅支援事業所、病院相談室との連携を強化して指定を目指す。経常収支は黒字決算。

**目標②** スタッフ教育による、個々のスキルアップ

**結果** 個々の年間目標作成行い、自己の役割認識や業務改善を行った。部署内研修の年間計画によって年 6 回定期的に研修が行えた。様々な研修の紹介、参加を促して、それぞれが複数回の院内外の研修に参加した。

**目標③** 働きやすい職場環境の充実

**結果** 親睦会を 2 回行いスタッフ間の交流を図った。個人面接を行いスタッフフォローに努めた。有休取得率は常勤約 30%、非常勤 62%。常勤者の 3 日以上の連続休暇が取りにくい。

**目標④** 利用者への良質なサービスの提供

**結果** 顧客へのアンケート調査、事業年報を編集することで業務の振り返りを行った。日々のカンファレンスや事例検討を行い、また、サービス担当者会議や退院前カンファレンスにも積極的に参加を行なった。診療所の医師や他職種との連絡調整も積極意的に行なった。

**目標⑤** 防災マニュアルの整備

**結果** 緊急時連絡網はヤフー災害メールを利用し確立。災害マニュアル及び顧客情報管理備品整備は委員会を設け整備することができた。

### （1）訪問看護事業実績

平成 26 年度は介護保険、医療保険を含め訪問延件数は 16,641 件（16,763 件）であり、平成 25 年度に比べ 122 件（介護保険 4 件増加、医療保険 114 件減少）減少した。訪問延件数のうちサテライトみかど台分は 6,435 件（7,002 件）であった。

介護保険延件数	13,741 件	(13,737 件)
医療保険	2,853 件	(2,967 件)
その他(実費訪問)	47 件	(59 件)
合 計	16,641 件	(16,763 件)
(月平均 1386.8 件 (1396.9 件) 1 日平均	56.8 件 (57.2 件) )	

疾病別 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

病 名	人 員 (名)	構 成 比 (%)
神経系疾患	40	8.1
呼吸器系疾患	33	6.7
精神障害	34	6.9
脳血管系疾患	22	4.5
骨格系及び結合組織疾患	47	9.5
悪性腫瘍	107	21.7
その他	210	42.6
計	493	100.0

月別訪問者数

年 月	実人員 (名)	延 件 数 (件)
26 年 4 月	286	1,423
5 月	274	1,340
6 月	279	1,433
7 月	281	1,524
8 月	288	1,399
9 月	279	1,347
10 月	288	1,400
11 月	282	1,253
12 月	288	1,348
27 年 1 月	280	1,331
2 月	291	1,344
3 月	292	1,499
計	3,408	16,641
月 平 均	284.0	1,386.8
一 日 平 均		56.8

(年間訪問日数 293 日)

年齢別性別訪問者数 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日) 単位：名

年齢 性別	～ 59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 ～	合 計
男性	21	12	19	23	35	44	36	35	225
女性	18	7	8	16	28	52	51	88	268

## (2) グループホーム等への訪問看護

グループホームで暮らす認知症の方が、希望すれば、重度化しても終末期であっても最後までグループホームでの生活を継続できるよう支援した。

委託契約したグループホーム1施設に週1回訪問し、入居者の日常的な健康管理及びグループホーム職員からの相談への対応、また、必要に応じ医師との連絡調整及び指示書の発行を受け、医療処置等通常の訪問看護を行った。





静岡県済生会支部事務局  
静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号  
054-280-5026（直通）